

令和5年度 学校関係者評価書

(小24)鹿児島市立武岡小学校

令和6年2月16日

1 学校教育目標・経営の基本方針

自ら学ぶ意欲をもち、心豊かで心身ともにたくましい子どもを育てる

2 本年度の重点

- 人権教育は全ての教育の基本である:「M「見つめる」O「思いをめぐらす」M「向き合う」姿勢で、自他の大切さを認め、自他の命を大切に育てる子どもを育成する。
- 特別な教育的支援を必要とする児童への教育推進:一人一人への理解を深め、共通理解して教育活動を行う。
- 不祥事根絶への意識化・実践化:不祥事防止強化月間(8月・12月)における職員研修(事例の共通理解・ロールプレイング等)を充実する。
- 業務改善への取組:ワーク・ライフバランスへの意識化を図る。

3 評価

領域	評価項目	学校関係者所見(成果や課題)
学校運営	1 グランドデザインに学校教育目標や学校経営方針が反映され、日々の教育活動を保護者・地域に分かりやすく伝えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめや不登校問題等へ全教職員が一丸となって取り組むための組織として「いじめ防止対策委員会」の設置は評価する。 ・ 今後は、担任がクラスの各児童の性格、体力、気力、家庭環境等を把握したり、クラス内での力関係に思いを巡らす取組も検討してほしい。 ・ 3学期は子供の様子を見る機会がない。以前は音楽発表会や学習発表会があった。 ・ 学校HPを見ると学校の様子がリアルタイムで確認することができて大変良い。 ・ 子供の発熱のため、迎いの電話を受けたときに、折り返しの電話をした際に担当の方以外も情報共有がしており、縦横の連携がとれているように感じた。 ・ バックネット裏の枯草が道路側から学校を見た場合の景観を失わせているように感じる。 ・ 武岡小学校をPRするため、ドライバーに安全運転を呼びかける活動を令和6年度も行います。 ・ 学校だよりを毎月見ること、学校や子供たちの様子がよく分かる。 ・ 配慮が必要な子供を民生・児童委員と共有することで、一緒に成長を見守ることができ、よいと思う。 ・ 学校の目標等分かりやすく、HPやブログを通して活動が確認できよかった。
	2 学校行事の時期や内容は適切である。	
	3 環境美化に努め、整備が行き届いており、定期的な安全点検の結果が活かされている。	
	4 いじめや不登校問題等へ全職員が一丸となって適切に対応できる体制が整っている。	
	5 危機管理マニュアルを作成し、不審者対策、登下校の安全指導、校内での事故、食物アレルギー等への対応が適切に行われるような体制が整っている。	
確かな学力	6 標準学力検査、鹿児島学習定着度調査(5年)、全国学力学習状況調査(6年)等の分析と活用、結果の積み上げと適切に開示がなされている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 武岡小児童の学力アップについては、たいへんですが、がんばってほしい。 ・ 読書タイムでチャイムが鳴った後も静かに読書を続けているクラスがあった。クラス全体で養われた集中力にびっくりした。 ・ 低学年の児童に、もっと基礎的な学力を定着させてほしい。 ・ 学校支援ボランティアが活躍することにより子供たちの習熟度があがりよいと思う。 ・ 学力向上の取組の効果が出ているようでよいと感じている。
	7 学校支援ボランティア等の活用、習熟度別の授業、ICT機器の活用により、分かる授業づくりに努めている。	
	8 基本的な学習習慣定着のため、全職員が「学習のきまり5章」を意識した取組を行っている。	
	9 一人ひとりの児童のニーズに応えるための具体的な手立てが図られている。	
	10 子どもたちが読書に親しむことができる手立て、環境が整えられている。	
心の教育の充実	11 基本的な生活習慣の定着に向けて全職員が共通理解・共通実践が図られている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の個性を生かした取組と心の教育の充実は二律背反的な面もあり、難しいですが、どちらも大事である。 ・ 授業参観で「自由とは何か」という題目で子供たちのディスカッションを参観した。保護者は言葉は知っていても、その責任を実践し、子供たちに伝えるということまでできていないのではないと思う。子供たちと一緒に学びかけの授業を今後も続けてもらいたい。 ・ 子供のための先生方の思いが、素直に伝わっている保護者と伝わらない保護者との差があり、残念に思います。 ・ 保護者の方々に子供の心の声に傾聴してほしい。 ・ 歳末たすけあい街頭募金に多くの児童を参加させていただきありがたい。今後ともお願いしたい。
	12 福祉・ボランティア活動、ふれあい活動の充実により豊かな心を育む工夫がなされている。	
	13 家庭や地域、関係機関等との連携が密になされ、心に届く生徒指導が実践されている。	
	14 環境に目を向けた具体的な取組がなされている。	
	15 道徳教育の充実が図られている。	
たくましい体力・気力づくり	16 重点七項目の徹底とノーメディアデイの実施により健康的な生活習慣の定着が図られている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の皆様には、地域行事に積極的に参加してほしい。 ・ タグラグビーで全国大会に出た子供たちが目で見て肌で感じた内容を広報し、他の子供たちに共有してもらいたい。 ・ 縄跳びや持久走大会で個々の能力に応じて努力している様子がうれしい。 ・ 特別な児童を除き、歩育(歩いて登校)を指導してほしい。 ・ 地域でのあいさつ運動をさらに充実してほしい。
	17 体育・運動能力の向上とともに、運動の生活科が図られる手立てがとられている。	
	18 家庭や関係機関と連携し、疾病予防、う歯治療促進の手立てがとられている。	
	19 生活科や総合、学活等を通し、望ましい食習慣や食育の充実が図られている。	
	20 地域行事やあいご行事に進んで参加している。	